

みんなの広場

主権者教育のオンライン授業

若者の声を反映させて社会をつくる

伊万里実業高校と敬徳高校の3年生を対象に、主権者教育のオンライン授業がありました。これは、地域課題を通して政治や選挙について学び、主権者の一員としての意識を育むことを目的としたものです。授業後、生徒は「生活や日本の政治に、少しでも若者の意見が取り入れられると嬉しい。選挙には必ず参加したい」と話しました。



↑主権者教育アドバイザー 立命館宇治中学・高校 杉浦真理しんり 教諭とオンラインでつながり、意見を交わす生徒たち

地域課題の解消に向けて地方と企業をつなぐ

地方でのビジネスの新しい在り方を模索

青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社が、市外の学生と地域住民が共同で新スタイルの地域ビジネスの構築を目指す合同ゼミを開催。秋頃に、実践活動として、駅前公園でマルシェイベントの開催を予定している、『伊万里駅前に1,000人集めるためのプロモーション』をテーマに、市の現状を把握し、アイデアを出し合いました。



↑長崎県立大学の学生や先生をはじめ、市内外のさまざまな世代が集まって行うグループワーク

開館26周年記念セレモニー

お願い事かなえてね!『天の川としょかん』

市民図書館の26歳の誕生日を祝って、『天の川としょかん』が開館しました。宇宙をイメージした会場には、平成7年7月7日の開館にちなみ、777冊の本でつくった天の川。本を借りる人は、星形のカードに願い事を書いて本のあった場所に置き、天の川に星を灯しました。これからも皆さんと素敵な本との出会いの場となりますように。



↑七夕にちなみ、星や宇宙、恋愛小説などが並びました

『図書館とフレンズの歩み』パネル展

図書館とともに歩んだ歴史

市民図書館で、『図書館とフレンズの歩み』パネル展がありました。これは、市民図書館を守り育てることを目指す友の会である『図書館フレンズいまり』が図書館の開館記念に合わせて開催したもので、平成7年9月に発足してから、図書館のパートナーとして、『協力と提言』を旗印に行ってきた、これまでの活動の歴史が詰まっています。



↑活動の歴史の深さに、訪れた市民は見入っています

第71回社会を明るくする運動

犯罪や非行のない明るい地域社会を目指し

犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちへの更生について理解を深め、明るい地域社会を築くための全国的な運動の一環で、内閣総理大臣と県知事からのメッセージ伝達式が市役所でありました。また、市内を回っての広報活動を行った伊万里地区BBS会の前田幸男会長は、「この運動を多くの市民に知ってもらいたい」と話しました。



佐賀保護観察所田島秀也企画調整課長(左)から内閣総理大臣メッセージを受け取る深浦弘信市長



↑市内一円の広報活動に出発する前田会長(中央)と伊万里地区保護司会の皆さん

関係人口創出事業

未来に向けた副業人材マッチングセミナー

市と伊万里信用金庫との地方創生に関する包括連携協定事業として、『経営課題解決セミナー～いまりで、決まり!』が市民センターであり、市内企業21社が参加。講師の株式会社みらいワークスの鈴木秀逸(ひでゆき)さんは、副業人材の活用法を提案し、セミナーを受けた市内企業の代表は、「組織強化のために、人材を求めたい」と語りました。



↑「人材が最も重要な経営資源」と話す講師の鈴木さん

オーイ!みんなおいでよ 波多津っ子集合!

潮のいい香りがしたよ

『NPO法人まちづくり波多津』が波多津を知ってもらう体験学習を開催し、波多津小学校4年生13人が参加しました。漁業について地元の人から話を聞き、船で伊万里湾に出航して、養殖のふぐに餌やり。塩づくり体験では、児童の一人が「波多津の塩はおいしいとたくさんの人に伝えたい」と話し、ふるさとの良さを実感していました。



塩焚き釜から塩を取り出す作業を「暑い、熱い!」と言いながら見学する波多津小学校の児童



↑「波多津のことを知って、もっと波多津を好きになってほしい」と伝えるNPO法人の小杉道久事務局長(中央)

交通安全とバスの乗り方教室

楽しみながら交通ルールを身に付ける

子どもたちへの交通安全教育の推進と、市民の暮らしを守る公共交通の利用を促進するために、大川小学校で交通安全・バスの乗り方教室があり、1・2年生児童41人が参加しました。児童は、伊万里警察署や昭和自動車株式会社の職員のクイズを交えた話を熱心に聞いたり、パトカーやバスに乗車したりと、楽しみながら学びました。



↑普段見ることのないパトカーに児童は大喜び